

クラッシー

CLASSY

発行 筑後八女地区 西日本新聞エリアセンター
 企画 イースタンコミュニケーションズ
 印刷 株式会社 東兄弟 TEL 0943-24-2111
 八女市祈禱院563 〒834-0025
 HP: www.wing8.com/dcity-yame/

クラッシーのバックナンバー(2010.1.1号より)がインターネットでご覧になれます。
 「デジタルシティやめ」→クラッシー→検索

2 FEB

	日	月	火	水	木	金	土
		2	3	4	5	6	7
		9	10	11	12	13	14
		16	17	18	19	20	21
		23	24	25	26	27	28
		30	31				29
3							

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

心配ごと相談(八女市) 八女市社会福祉会館 2月5日・19日 黒木町ふじの里 2月5日・19日 上陽町地域福祉センター 2月12日・26日 立花町かがやき 2月12日・26日 法律相談(要予約) 八女市社会福祉会館 2月14日 黒木町ふじの里 2月21日 上陽町地域福祉センター 2月28日	司法書士相談 黒木町ふじの里 2月14日 八女市社会福祉会館 2月21日 筑後市 心配ごと相談 毎週木曜日/総合福祉センター 健康に関する総合相談 毎週金曜日/筑後市立病院	くらぎふるさと日曜日 毎週日曜日 上陽ふるさと市 毎週土曜日 ○読み聞かせ 八女市立図書館(本館) 毎週土曜日 午後2時~ ゆめみらい図書館(黒木分館) 毎月第2土曜日 午前11時~ ○赤ちゃん読み聞かせ 八女市立図書館(本館) 毎月第3水曜日 午前11時~ ゆめみらい図書館(黒木分館) 毎月第4木曜日 午前11時~	1 1月2日 友引
---	---	--	------------------

2 3日 先負 お父さんとあそぼう「もちつき大会」(おひさまハウス) 男女共同参画推進事業「映画上映会」(サザンクス筑後)	3 4日 仏滅 べんがらの日(べんがら村) 大浴場お一人様300円	4 5日 大安 なんでも人権相談所(矢部公民館)	5 6日 赤口 松尾弁財天縁日(立花町) なんでも人権相談所(八女市役所星野支所)	6 7日 先勝	7 8日 友引 なんでも人権相談所(八女市社会福祉会館)(地域福祉センター)	8 9日 先負 友愛ウインターキャンプ(〜9日・天山スキー場)
9 10日 仏滅 八女軽トラ市9:30~13:00(八女観光物産館駐車場)	10 11日 大安 わくわく誕生祭(道の駅たちばな)	11 12日 赤口 建国記念の日 かし座影絵劇「宝島」公演(おりなす八女)	12 13日 先勝 なんでも人権相談所(筑後市勤労者家庭支援施設)(立花市民センター)	13 14日 友引 無料法律相談13:30~・要予約(八女民主商工会) ☎24-2727	14 15日 先負 なんでも人権相談所(地域交流センター)	15 16日 仏滅 サンコア利用者の会 グラウンドゴルフ大会(窓ヶ原グラウンド) 黄櫨の会(社会福祉会館)
16 17日 大安 雑の里・八女ぼんぼりまつり オープニングセレモニー・パレード(八女文化会館)	17 18日 赤口 べんがらの日(べんがら村) 大浴場お一人様300円	18 19日 先勝	19 20日 友引 社会保険個別相談会 10:00~15:00(八女商工会議所) 要予約 0942-33-6215	20 21日 先負 なんでも人権相談所(広川町はなやぎの里)	21 22日 仏滅 定例法律相談会(要予約) 10:00~12:00(八女商工会議所) ☎22-5161	22 23日 大安 立花農業まつり(〜23日)(八女市立花体育館) 長崎上五島物産展(道の駅たちばな)
23 24日 赤口 八女軽トラ市9:30~13:00(八女観光物産館駐車場) 十二単衣と束帯姿の結婚式・おひなさまパレード・願い難(福島八幡宮・白壁の町並み・八女公園) 市民芸能のつどい(サザンクス筑後) 立花町観梅会ウォーク(八女歩こう会)	24 25日 先勝	25 26日 友引 ヤンネ・メルタネン・ピアノリサイタル(おりなす八女)	26 27日 先負 不動産に関する何でも相談会 13:00~15:00(八女商工会議所) お風呂の日(グリーンピア八女)(温泉館きらら)(不動温泉八女)(公園の宿)(べんがら村)	27 28日 仏滅	28 29日 大安	

昭和の 幾山河を越えて 詩人 推窓 猛

天宮まふより

暦は如月、節分、寒明け、早春の賦。だが、書斎から遠望のヒラノ岳、中国大陸からのスモッグに煙る日多し。地球環境、汚染、いささか杞憂。▼今年の賀状には「降る雪や昭和をこえしこのいのち」と一句、有名な「明治は遠くならにけりの草田男句を連想しつゝ、詠んだ老骨85歳となる感懐であつたが、正月、黒木町に開業、町医者として一意専念、地域医療に貢献の原陽一先生より珍しく封書の便り。開封、御令孫、神戸居住という大澤仁美さんの「祖父の眼差し」と題のエッセイが添えられていた。一読、感想をとのこと。▼「夜間、休日の診療一切厭わず、奥深い山村で病い患い苦しむ人のことを思い、遠出の旅は一切控えた祖父。その祖父が始めて海軍兵学校の同窓会へ、長崎針尾まで旅行に同伴。「海は全然変らんね」と、十五歳から終戦までの兵学校時代を回想の眼差し。祖父の側に立つ仁美さん。「自分達が享受している平和。祖父世代が払った多くの犠牲と弛まぬ努力」「祖父たちの心を如何に維持するか」「常に勉学、世に貢献の人に」との祖父の言葉。▼陽一先生と私は旧制八女中同級生。常に成績優秀の首席。戦後、医師への志。道一筋に。昭和激動の幾山河を越えての眼差しが令孫によく汲みとられていきますと返事。